

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社河一屋）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・部署毎の1on1ミーティングを定期開催し、職場環境や差別有無の実態の把握に努めている ・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度の研修を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、ハラスメント禁止についての研修を実施 ・社員による社員のみの組織を設置し、相談窓口としている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・業務に負担が掛る時間帯はアームを超えた補助を可能とし(マルチタスク化)、労働量の全体最適化に努めている ・旅館業に多い中抜けシフトを極力排除し、2シフト制としている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度の研修を実施 ・社員による社員のみの組織を設置し、相談窓口としている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・衛生的で整理された職場環境を目指す安全委員会を設置し、毎月各所を点検し、必要に応じて整理・掃除を指示 ・食品衛生講習会を毎年受講								8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・各部署でリーダー、専務、社長、代表社員それぞれが定期的な面談を実施し、メンタルヘルスの良質維持に努めている ・称賛し合う雰囲気醸成とシステムの導入 ・委員会によるコミュニケーション向上を意図したイベントの実施																	
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・管理職の3割以上は女性社員 ・障がい者、高齢者を採用し適所で活躍している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・全社員に、経営者育成研修、業務フロー長化研修、マーケティング研修を定期的に実施 ・資格取得支援制度の設置 ・リーダー向け研修を実施				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている ・職場いきいきアドバンスカンパニー取得済み					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社員でスホーパ入会を毎年実施 ・協会けんぽ「健康づくりチャレンジ宣言」実施済み ・健康診断の毎年実施 ・朝礼時にラジオ体操実施 ・有給を取得しやすい環境整備				3				8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の種類・量などを把握し、適切な分別・処理を行っている											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・電気・ガス・灯油・水道の利用量を月毎に把握し、削減目標を設定							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・温室効果ガスの排出抑制のため、LED照明や二重サッシへ交換し、省エネ型空調や節水トイレへの更新を実施済み							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、持ち込まない			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・バイオマスゴミ袋の利用促進 ・お客様に地物食材の提供をすることで、環境保護の恩恵と啓蒙を直に感じて頂く ・温泉や清水の源となるブナ原生林保護のため、お客様への啓蒙活動及びブナの植樹活動を実施 ・工場の裏面利用、SNSを利用した情報共有ブールの採用によるペーパーレスを推進 ・廃材を利用したダイニングテーブル・イスなどの家具採用を推進 ・不要になったタオル等の再利用						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)														13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水道の利用状況を管理している ・節水型設備(シャワー・蛇口など)を導入済み						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	・令和8年3月までに、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を把握していく			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・温泉や清水の源となるブナ原生林保護のため、お客様への啓蒙活動及びブナの植樹活動を実施												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・太陽光・風力・水力・地熱・温度差熱などの利用を検討し方向性を令和8年3月までに決定する							7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現在、館内浴室や客室に天然温泉を利用し、お客様にお楽しみ頂いている												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度のコンプライアンス研修を実施。汚職・贈収賄とは何かを学び、禁止する旨社員に伝えている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度のコンプライアンス研修を実施。不正競争行為とは何かを学び、関与しない旨社員に伝えている																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・知的財産の保護の重要性について学び、保護に取り組んでいる								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度のコンプライアンス研修を実施。個人情報の重要性を学び、保護に取り組んでいる																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・取り扱っていない																	16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・事業パートナーをお招きした方針発表会や懇親会において、人権侵害・環境保全に対する考え方や取り組みを共有している					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			パートナーシップ構築宣言を作成・公表している			3					8	9	10							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【地域協働】 ・地域の各種団体（野沢温泉村観光産業課・DMO・旅館組合・商工会など）と協働し、地域活性化を目指す		・DMO・旅館組合・商工会に加盟し、地域活性化を目指した積極的な活動をしている								8	9		11	12				16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定